

令和5年度自己評価・学校関係者評価報告書

1. 本園の教育目標

【理念】

仏教を通じて、人間形成の土台を作る

【方針】

園児が幸せな人生を過ごせるように、

「人間形成の土台を作ろうとする園児の手伝いをする」

【目標】

「明るく」「正しく」「仲良く」の3つが本園の教育目標です。

明るく(仏)・様々なことに興味・関心をもち、主体的に探求する

正しく(法)・良いことや悪いことを理解し、行動に責任を持つ

仲よく(僧)・慈悲の心、集団性を身につけ、調和のとれた生活をする

【～様々な体験を通じて～】

- ① 選択肢を広げ、視野を広げる
- ② 選ぶ力、考える力を体得する
- ③ 人とのかかわり方を体得する
- ④ 仏教の思想を感じ、身につける

子どもたちだけでなく、職員もこれらの力を互いに育てあえるようにすること目標とし、様々な課題について話し合いながら、みんなで作り上げていくことを目指しています。

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

①教育課程の充実

ルンビニーの長い歴史の中で大切にしてきたさまざまな行事があります。行事はあくまでも幼児主体の幼児教育の一環であることを重視し、遊び中心の幼児主体の教育を充実させていきます。一方で、仏教保育はルンビニーの教育の中でも重要であり、さらなる充実をはかります。

②記録の充実

幼児教育においては、教諭は子ども一人一人の違いを把握し、一人一人に寄り添うことが重要です。そのために教諭は日々、幼児の姿を肯定的にとらえていてねいな記録を取ります。iPad等を駆使した記録の充実をはかり、保護者にも共有していきます。

③学びの充実

子どもたちの遊び=学びを充実させるために教諭の学びを深めることが重要です。教諭が幼児主体の保育に対する理解を深められるよう研修プログラムを組み、教諭が学んだことをきちんと理解して、日々の保育の中で実践できているかどうかの評価を行っていきます。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	自己評価	学校関係者評価	取り組み状況
1	教育課程の充実		A	全体的な計画を教諭自らの意見を出し合って作成したことに始まり、年間計画、学年ごとの月案・週案の充実をはかることができた。それらを元に遊びを中心とする保育・幼児教育を行い、さらに記録につなげていくことができた。
2	記録の充実			今年度より初めてドキュメンテーションに取り組んだ。子どもたちの発達の過程を教諭がしっかり理解することに繋がると同時に、保護者の保育に対する理解も進み、非常に大きな効果が見られた。
3	学びの充実			年度初めより専門の講師による研修プログラムを組み、教諭の学びを深める機会を増やした。ドキュメンテーションの作り方や利用法の研修は、実際に日々の保育に非常に役立ち、教諭の保育に対する視点の充実が見られた。学園全体の職員の不足（産休等による）により、全員が同一の研修を同時に受けることが出来なかった。交代要員を整えつつ、時間差でも良いので全員で同じ研修を受けるようにすることが今後の課題である。

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

4. 総合的な評価結果

	自己評価	学校関係	理由
1			新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、休園になったり、夏休みが2ヶ月間に延長されたりするなどの影響がありましたが、遊びを中心とする保育への切り替え、行事の見直し・再編はほぼ目標通りに進みました。来年度も引き続き目標を立て、さらなる進歩を目指していきたいと考えています。

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み
1	教育課程のさらなる充実	今年度は教諭らが検討し教育目標を作成しましたが、来年度も引き続き教諭らが自発的に年間を通した教育目標を作成し、充実させていくことを目指します。
2	ドキュメンテーションからプロジェクト型保育の実施	今年度初めて実施したドキュメンテーションは、保育においても、保護者との情報共有においても非常に有効性が高いことが示されました。そこで来年度はさらにドキュメンテーションを充実させるとともに、子どもたちの間から沸き起こる疑問を学びへと展開・昇華させる「プロジェクト型保育」への取り組みを実施したいと考えています
3	公開保育の実施	公開保育を実施し、他園からの参観者を集める研究会等を実施したいと考えています。また、同時に幼児教育実践学会、ECEQ等、全日私幼が主導する研究プログラムにも参加し、さらなる保育の質向上を目指していきます。

6. 学校関係者評価委員会のメンバー

学校法人明福寺ルンビニー学園 評議員 須賀 理 様
渡邊稔彦 様

令和5年4月
学校法人明福寺ルンビニー学園
理事長 福井徹人